

岐阜工業高等専門学校地域連携協力会設立趣意書

岐阜工業高等専門学校は、実践的技術者の養成を目的に5年間の一貫教育を行う国立の高等教育機関として昭和38年に創設されました。その後、同校は、岐阜県内では数少ない工業系高等教育機関として、「科学技術に夢を託し、人類愛に目覚め、国際性豊かで情報化社会の最前線で活躍する技術者の育成」を基本理念に掲げて有為なる技術者の育成を目指してこられました。また、平成7年4月には、大学卒と同等の資格が与えられる修業年限2年の専攻科が設置され、より高度な創造的開発能力と国際的視野を持つ技術者の育成を進めておられます。

同校では、とりわけ座学と同等に実験実習などの実践教育を重視しておられ、創設の頃から企業での体験学習(インターンシップ)にも取り組んでこられ、最近では海外でのインターンシップを実施するなど、経験に基づいた知識活用能力の養成に力を入れておられます。そのような実績の積み重ねによって、平成16年には日本技術者教育認定機構(JABEE)による認定を獲得するなど、国際的な技術教育水準を満たす教育機関として評価されるに至っております。

これらの教育を受けた6,000余名の卒業生及び約300名の専攻科修了生は、「ものづくり」の基盤を担う有為な工業技術者或いは研究者として幅広く活躍され、産業の発展と技術力の向上に多大な貢献をしておられます。

その一方で同校は、科学研究費補助金取得件数において、全国高専中でもトップクラスを維持されるなど、教職員の研究活動は大変盛んであります。同校が持つこのような「知的財産」及び「技術教育力」を地域社会に還元すべく、平成4年以来毎年「岐阜高専テクノシンポジウム」を開催して地域の技術者との対話を進めてこられました。

また、それを機会として、地域の企業との技術相談や共同研究及び受託研究などを精力的に実施され、既にそれらに基づいたユニークな商品開発や多数の特許獲得を成し遂げるなど、地域産業の振興・発展に向けて着実な成果を上げておられます。

平成16年4月に国の機関から独立行政法人となったことを契機に、同校では地域との連携をさらに促進する道を模索してこられました。例えば、地域の産業技術に関わるいくつかの研究会を設けて産業技術の開発を試みると同時に、岐阜県内の人材育成機関と連携した産業人材育成や、インターネット経由での社会人教育、地域の教員や社会人と連携して若者たちの理科離れの防止などを積極的に推進しておられます。これらの活動には、地域産業界としても大いに

期待を寄せているところであり、またこれらの活動をより活発に行っていただくために、地域の産業界としてもこれまで以上の協力体制を構築することが不可欠であります。

故に、同校と地域の企業や自治体等との連携・交流をさらに深め、これを通して地域の産業並びに文化の振興を図り、もって地域社会の発展に寄与するために、

- (1) 地域の産業並びに文化の振興に関する事業
 - (2) 地域に必要とされる技術の開発支援と技術の交流に関する事業
 - (3) 地域に必要とされる人材の育成支援と人材の交流に関する事業
 - (4) 岐阜高専の教育・研究の充実及び発展に関する事業
- などをより体系的かつ積極的に推進する必要性を感じている次第です。

つきましては、僭越ではございますが、私どもが相諮り、上記を達成することを目的としまして、「岐阜工業高等専門学校地域連携協力会」を設立することとしました。

貴台におかれましては、以上の趣旨に御賛同下さいまして、格別の御高配と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年10月吉日

発起人代表	西濃信用金庫理事長	橋本征四郎
発起人	岐阜県工業会会長	
	(株式会社TYK代表取締役会長)	牛込進
	株式会社市川工務店代表取締役副社長	岡部勝
	荻須テクノコンサルタント代表	荻須雅夫
	株式会社黒田製作所代表取締役会長	黒田隆
	岐阜県総合企画部研究開発総括監	清水聖幸
	岐阜高専建設技術士有志会会長	
	(社団法人岐阜県都市整備協会専務理事)	高崎豊
	株式会社電算システム常務取締役	田中靖哲
	株式会社トゥ・ステップ代表取締役	森本隆成
	岐阜工業高等専門学校校長	榊原建樹